

学習の展開

学校番号：５６		学校名：岐阜県立益田清風高等学校		指導者名：高橋　沙彩		令和６年１１月１９日（火）第３限・４時間目／１６時間	
クラス：１年Ａ・Ｂ組		場所：体育館		科目：体育		領域名：球技（ゴール型）バスケットボール	
準備する物：ボール・タイマー・ゼッケン・ホワイトボード							
本時の指導 (学習目標)		○ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。【技能②】 （正しいレイアップシュートのフォームを理解し実践する。）					
本時の手立て		○見本のシュートの動画を見せ、ポイントを説明する。 ○実際のシュートフォームをお互いに撮影し、映像を分析した課題を改善させる。					
クラス観		○明るく元気で、何事も前向きに取り組めるクラスである。失敗を恐れることなく、苦手なことにも思い切って挑戦する生徒が多い。 ○指示をよく聞いているため、素早く活動に入ることができる。運動が大好きな生徒が多い。					
	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	評価規準（評価方法）		
導入 ５分	○集合・挨拶 ○準備運動 ○本時の説明	○4列横隊で整列し、姿勢正しく挨拶する。 ○準備運動を行う。 ○本時の目標及び授業内容を聞き、理解する。	○迅速に集合させ、整列させる。 ○各部位をしっかり動かすことを意識させる。 ○本時の学習内容を理解させる。	一斉			
展開 40分	【本時の学習目標】 正しいレイアップシュートのフォームを理解し、シュートをする。				【技能②】 ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ポイント（右側） ①ドリブルからペイントエリアに入る前にボールをキャッチし、右足→左足の順番で助走をし片足踏切で跳ぶ。 ②両手もしくは右手でボールをボードの小さな四角に優しく投げる。 十分満足できる（A） レイアップシュートのポイントを正確に理解してシュートできる。 おおむね満足できる（B） レイアップシュートのポイントを理解してシュートできる。 努力を要する（C） レイアップシュートのポイントが理解できずシュートしている。		
	<発問> グループでお互いにシュートを様々な角度から撮影し、見本と見比べてアドバイスをしよう。 (ポイント) レイアップシュート(右側) ・ドリブルからペイントエリアに入る前にボールをキャッチをし、右足→左足の順番で助走をし片脚踏切で跳ぶ。 ・両手もしくは右手でボールをボードの小さな四角に優しく投げる。						
	○レイアップシュートのポイントの確認	○見本動画を視聴しレイアップシュートのポイントを確認する。 ○実践する順番と撮影者を決めさせる。	○ボールを一つ持たせて、説明を聞きながら真似させる。 ○活動場所、撮影する角度をあらかじめ指示する。	一斉			
	○レイアップシュートの練習、撮影、意見交流	○最初のシュートの動画と一番良いシュートの動画を振り返られるように保存する。【技能②】 ○タイマーの時間を見ながら、全員が平等にできるようにする。 ○実践者の動画を見て、グループ内でアドバイスをする。	○最初のシュートの動画と一番良いシュートの動画を振り返られるように保存させる。 ○練習時間の配分を意識させる。 ○グループでうまく意見交流をし、改善している場面には賞賛の声をかける。改善できていない場面には改善ポイントを伝える。 ○生徒が自分で見本の動画をタブレットで見れるようにしておく。	グループ			
まとめ ５分	○本時の振り返り ○整列・挨拶	○本時の活動を振り返り、本時の成果を発表する。 ○次時の課題を理解する。 ○4列横隊で整列し、姿勢正しく挨拶する。	○グループワークの中での成果を交流させる。 ○体調不良・怪我がないか確認する。	一斉	※授業後生徒に撮影させた動画を視聴し技能②の習得状況について確認した。		